

令和4年度

事務事業評価表(令和3年度の実績評価)

記入年月日
令和4年4月15日

事務事業名		桜川市岩瀬福祉センター管理事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	010401000467
						単独/補助	単独	所属課	040101
政策体系	総合計画の施策名	0104 地域福祉の推進						課長名	社会福祉課
	政策名	01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり						グループ	社会福祉G
	施策名	04 地域福祉の推進						担当者名	
	手段名	01 ①地域福祉活動の推進							
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業細	一般会計			
	01	03	01	11	01 00	岩瀬福祉センター管理事業			
法令根拠	桜川市福祉センターの設置及び管理に関する条例及び条例施行規則					単年度繰返し(平成17年度~)			
	【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)					期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

手 段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<p>【事務事業の内容】</p> <p>市民の在宅福祉対策の総合的・効率的展開を図るための活動拠点として、福祉ニーズに応じた各種相談、情報及び福祉活動の場の提供を行っている福祉センターの管理事業である。指定管理者制度を導入し、桜川市社会福祉協議会が指定管理者(130年度から5年間)として管理を行っている。</p> <p>指定管理者と市は、基本協定の中で、施設管理に関する責任分担を明確にし、また、利用状況、管理状況等の報告を受けている。</p> <p>【事業費の内訳】</p> <p>委託料(指定管理料)、使用料及び賃借料(土地借上げ料)、需用費(10万円以上の修繕料(基本協定に基づき、市と指定管理者との協議による))</p>		<p>【主な活動】</p> <p>管理業務として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○指定管理者事業計画書の受理・審査、指定管理料の支払い、施設修繕への対応 ○指定管理者による施設の維持管理・運営 	

①手段 (担当者の活動内容)							④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度(実績)	03年度(実績)	04年度(計画)	05年度(目標)	06年度(目標)
子どもから高齢者、障害のある方等誰もが集い、交流する場を提供することにより、より多くの人に利用してもらえる。							年間開館日数	日	266.00	265.00	245.00	245.00	245.00
									0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
									0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
									0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)							⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度(実績)	03年度(実績)	04年度(計画)	05年度(目標)	06年度(目標)
市民							人口	人	39,122.00	38,422.00	37,852.00	37,282.00	36,712.00
									0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
									0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)							⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度(実績)	03年度(実績)	04年度(計画)	05年度(目標)	06年度(目標)
地域福祉の拠点施設として、市民が地域福祉の増進と福祉活動の育成、また生活の向上に向けて安心・安全に利用することができる。							利用者数(延べ人数)	人	13,408.00	13,611.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00
									0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
									0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

③ 投入量(事業費)の推移		02年度(実績)	03年度(実績)	04年度(計画)	05年度(目標)	06年度(目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	7,964	38,068	9,963	
		事業費計(A)	千円	7,964	38,068	9,963	
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

事業費の内訳	03年度事業費 実績(千円)			04年度事業費 予算(千円)		
	12 委託料	7,964		12 委託料	7,964	
	13 使用料及び賃借料	1,999		13 使用料及び賃借料	1,999	
	14 工事請負費	28,105				
	合計		38,068	合計		9,963

事務事業名	桜川市岩瀬福祉センター管理事業	事務事業No.	10401000467	所属課	社会福祉課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成8年12月開設、市民の在宅福祉対策の、総合的、効率的展開を図るための活動拠点として設置された。建築年数の経過により、施設・設備の老朽化が進み、修繕箇所が増えてきている。平成19年度より指定管理者制度を導入し、指定管理者が施設管理を行っている。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
特になし					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 地域福祉増進の拠点施設として、また人々の交流の場として提供することにより、コミュニティスペースとして機能している。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 桜川市福祉センターの設置及び管理に関する条例に基づき、市民の在宅福祉対策の総合的、効率的展開を図るための活動拠点として、福祉ニーズに応じた各種相談、情報及び福祉活動の場の提供を行う施設として設置されている。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 現状において、指定管理者による施設管理が問題なく行われており、成果があると考えられる。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 地域福祉の拠点となる福祉センターは、地域福祉の増進や憩いの場の提供等、世代間交流のため必要な施設である。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似する施設がないため、統廃合・連携はできない。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 指定管理者制度を導入し、民間のノウハウを活かすことにより、サービスの質の下げることなく事業費を削減しており、削減は期待できない。施設の老朽化に伴い修繕費の増加が想定され、指定管理者制度の事務事業であり人件費を削減はできない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民に開放し、利用者の使用条件や使用金額は同一条件であり、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉増進の拠点施設として、また人々の交流の場として機能している。 ・施設の老朽化に伴い、修繕費の増加が想定される。 ・新型コロナ対応地方創生臨時交付金により、空調整備工事を実施。 ・給湯ボイラー部品交換工事を実施。 																		
②有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上維持低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">向上維持</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上維持低下	コスト			削減	維持	増加	向上維持	向上		○	×	低下	×	×	×
成果	向上維持低下	コスト																		
		削減	維持	増加																
向上維持	向上		○	×																
	低下	×	×	×																
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																		
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>